

海底を這う、黒いダイヤ

「乾燥なまこ」の輸出について

神戸港の全国シェア

神戸税関
私のまちの NATIONAL GATE

数量、金額ともに、平成16年統計計上開始以降、連続日本一

海底をゆっくりと這う奇妙な姿の生物。岩礁や砂地を住み家にして有機物などを食べ大きくなっていく棘皮(きょくひ)動物。なまこは日本や中国で古くから食用に珍重されてきた海の生物で、世界各地の海に約1500種生息しています。日本近海には200種類ほどが生息しており、その中で食用に適しているのは「マナマコ」と呼ばれる種類です。

日本では生食が一般的ですが、中国などでは乾燥したなまこを水で戻して調理します。栄養豊かな日本の海で育ち、丁寧に乾燥加工されたなまこは、世界の数ある乾燥なまこの中で最高級品として評価されており、今回は、その価値の高さから黒いダイヤと称される「乾燥なまこ」について取り上げました。

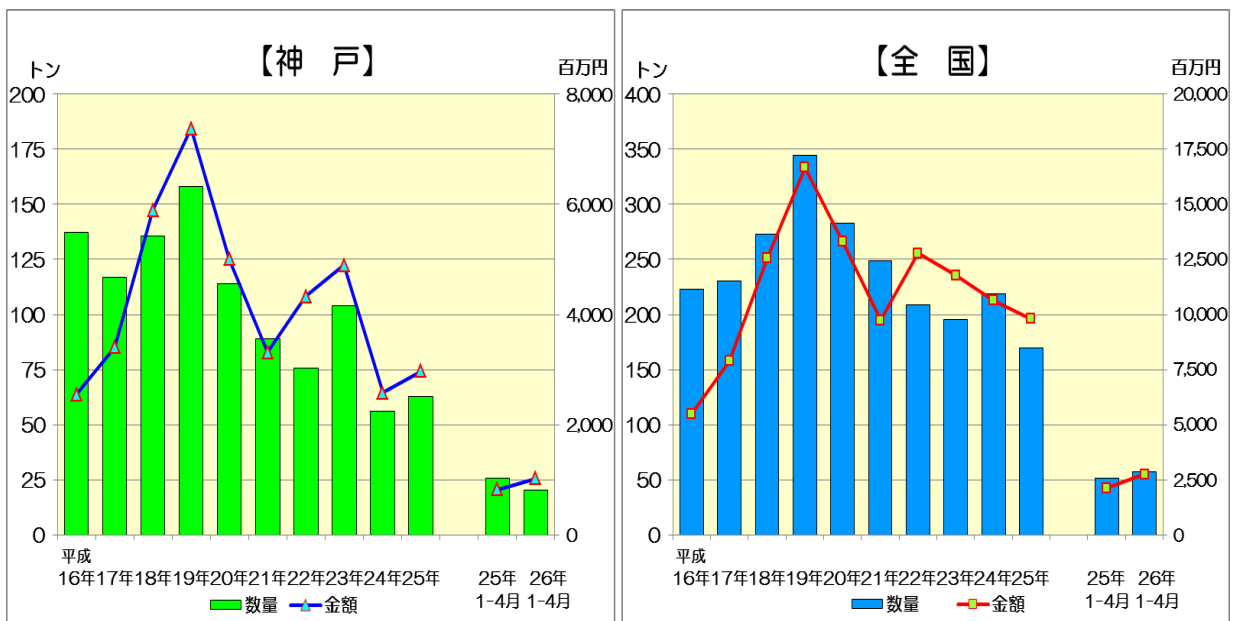
注) 本稿の「乾燥なまこ」は、輸出統計品目番号1605.61-100(旧1605.90-930)を指します。



1. 輸出の動向

平成25年の神戸港は、数量63トン(前年比112.1%)、金額29億74百万円(同115.3%)で、全国は数量170トン(同77.6%)、金額97億95百万円(同92.2%)が輸出され、平成16年に「乾燥なまこ」の統計計上が始まって以降、数量、金額とも日本一が続いています。

【輸出数量・金額推移】



主要な消費地である中国の経済成長に伴い輸出が増加していましたが、平成 19 年をピークに、その後はリーマン・ショック(平成 20 年)、東日本大震災(平成 23 年)、円高などの影響を受け、また、近年、製造が 1 日程度で済む塩蔵なまこが増加していることもあり、神戸港、全国ともに減少傾向にあります。

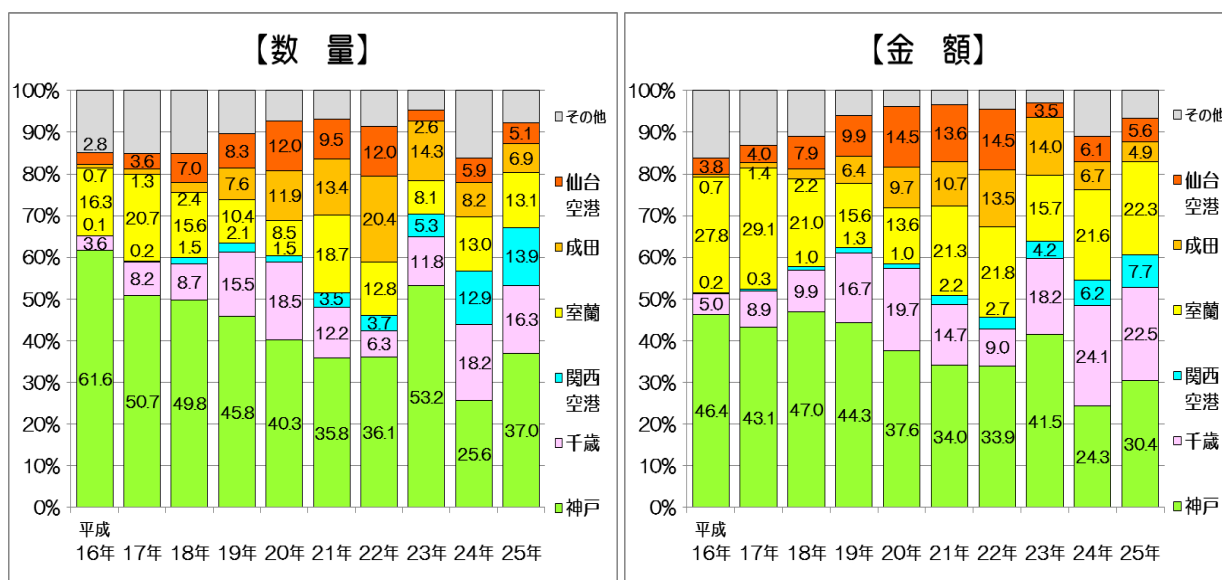
2. 港別の動向

平成 25 年の神戸港の全国シェアは、数量ベースでは 37.0%、金額ベースでは 30.4%と神戸港が第 1 位となっています。

神戸港が利用される主な理由は、神戸には戦後から神戸港を利用して中華圏向けの海産物を扱っている貿易商が多く、安全に取引できる貿易商を頼って西日本(関西、瀬戸内、九州)だけではなく、北日本(北海道、青森)など全国各地から荷物が集まるためです。

平成 23 年に神戸港のシェアが増大したのは、東日本大震災の影響で貨物が神戸港へシフトしたことが要因ですが、平成 24 年にはその反動で減少しています。

【港別構成比】

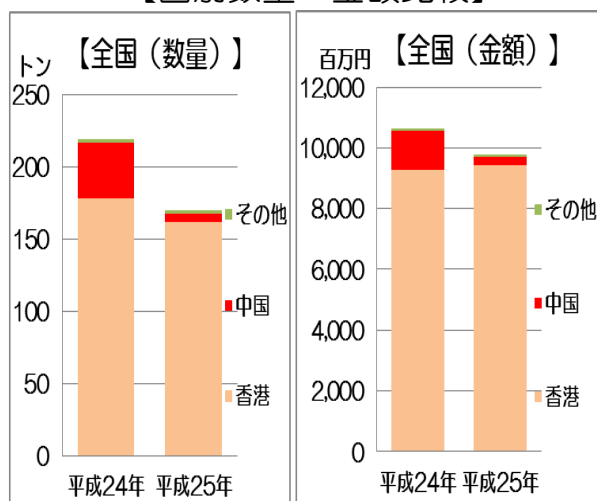


3. 輸出相手国・地域の動向

乾燥なまこの主な輸出相手国・地域は、香港と中国でほぼ占められます。平成 25 年は中国が減少していますが、これは主要な消費地である中国において、国家政策により乾燥なまこを含む高級品の消費が伸びなかったことが要因のようです。

乾燥したなまこは、3 日ほどかけ水で戻され、高級なものは丸ごと姿煮にして現地のレストランで提供されています。昔から正月やお祝いの席などで食されていましたが、中国の生活水準の上昇とともに最近では家庭料理としても消費されるようになっていきました。

【国別数量・金額比較】



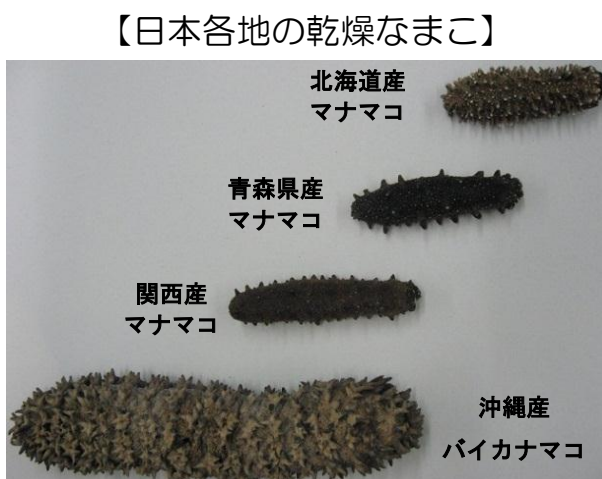
中国でなまこは朝鮮人参に匹敵する滋養のある食べ物として「海參（ハイシェン）」と呼ばれ、江戸時代にはすでに「俵物三品（ひょうもつさんぴん）」としてふかひれ、乾燥アワビと並んで日本から中国（清）へ輸出され、宮廷料理として食べられていた歴史があります。また、子供が風邪を引いたときに食べさせたりする習慣もあり、食や健康に非常に関心の深い中国の人々にとって乾燥なまこは中国の食文化を形成する特別な食材となっています。

4. おわりに

昔ながらの乾燥なまこは採捕された後、人の手によってひと月以上かけて水煮と天日干しを丁寧に繰り返すことによって、旨みが増し、きれいな形に仕上げられます。出来上がった産地別の乾燥なまこの容姿をみると、北の産地のものほど体壁にある疣（いぼ）が大きく尖って数が多いため、とりわけ商品価値が高いとされています。日本は乾燥技術が高いうえに日本で育つなまこの特質から伸縮率が高い（乾燥時に小さくなり、水で戻す時に戻りが大きい）のが特徴です。

現在中国で漁獲されるなまこのほとんどが養殖なのに対し、日本のなまこは天然で、ちょうど今頃、春から夏にかけて産卵の時期を迎え、数年かけて商業価値のある大きさに成長します。摂食とともに海を浄化する役目があるなど、海の重要な生態系を担っていますが、生息環境の変化、乱獲などの影響でだんだん住みにくくなっている状況で、産地によって稚なまこの放流をしているところもあります。

業界によると、品質の維持、漁獲量の減少、輸出先の消費動向などの懸念材料を抱えているものの、今後も乾燥なまこの需要が減ることはないだろうとのことです。



本資料を転載するときは「神戸税関」の資料による旨を注記して下さい。

なお、本資料のお問い合わせは、

神戸税関調査部調査統計課

TEL (078) 333-3065 またはメールアドレス kobe-toukei@customs.go.jp まで

「神戸税関ホームページ」のアドレス <http://www.customs.go.jp/kobe/>

数値表 (平成16年から貿易統計計上開始)

* 輸出実績推移

年	神戸港						全国					
	数量(トン)		金額(百万円)			通関単価 円/KG	数量(トン)		金額(百万円)			通関単価 円/KG
	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比		全国比	前年比	全国比			
平成16年	137	-	61.6%	2,548	-	46.4%	18,579	223	-	5,495	-	24,680
平成17年	117	85.1%	50.7%	3,403	133.6%	43.1%	29,153	230	103.3%	7,887	143.5%	34,286
平成18年	136	116.3%	49.8%	5,899	173.4%	47.0%	43,447	273	118.6%	12,563	159.3%	46,057
平成19年	158	116.4%	45.8%	7,376	125.0%	44.3%	46,675	345	126.4%	16,667	132.7%	48,329
平成20年	114	72.2%	40.3%	5,007	67.9%	37.6%	43,909	283	82.0%	13,318	79.9%	47,072
平成21年	89	78.1%	35.8%	3,313	66.2%	34.0%	37,219	249	87.9%	9,733	73.1%	39,123
平成22年	75	84.8%	36.1%	4,330	130.7%	33.9%	57,378	209	84.0%	12,788	131.4%	61,191
平成23年	104	137.8%	53.2%	4,892	113.0%	41.5%	47,036	195	93.5%	11,784	92.1%	60,310
平成24年	56	53.9%	25.6%	2,579	52.7%	24.3%	45,986	219	112.0%	10,626	90.2%	48,567
平成25年	63	112.1%	37.0%	2,974	115.3%	30.4%	47,285	170	77.6%	9,795	92.2%	57,689

* 港別輸出実績推移

数量(トン)	全国	神戸		千歳		関西空港		室蘭		成田		仙台空港		その他	
		前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比		
平成16年	223	137	61.6%	8	3.6%	0	0.1%	36	16.3%	2	0.7%	6	2.8%	33	15.0%
平成17年	230	117	50.7%	19	8.2%	1	0.2%	48	20.7%	3	1.3%	8	3.6%	35	15.2%
平成18年	273	136	49.8%	24	8.7%	4	1.5%	42	15.6%	6	2.4%	19	7.0%	41	15.0%
平成19年	345	158	45.8%	53	15.5%	7	2.1%	36	10.4%	26	7.6%	29	8.3%	36	10.3%
平成20年	283	114	40.3%	52	18.5%	4	1.5%	24	8.5%	34	11.9%	34	12.0%	21	7.3%
平成21年	249	89	35.8%	30	12.2%	9	3.5%	46	18.7%	33	13.4%	24	9.5%	17	7.0%
平成22年	209	75	36.1%	13	6.3%	8	3.7%	27	12.8%	43	20.4%	25	12.0%	18	8.6%
平成23年	195	104	53.2%	23	11.8%	10	5.3%	16	8.1%	28	14.3%	5	2.6%	9	4.6%
平成24年	219	56	25.6%	40	18.2%	28	12.9%	29	13.0%	18	8.2%	13	5.9%	35	16.2%
平成25年	170	63	37.0%	28	16.3%	24	13.9%	22	13.1%	12	6.9%	9	5.1%	13	7.7%

金額(百万円)	全国	神戸		千歳		関西空港		室蘭		成田		仙台空港		その他	
		前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比		
平成16年	5,495	2,548	46.4%	275	5.0%	8	0.2%	1,526	27.8%	37	0.7%	208	3.8%	893	16.2%
平成17年	7,887	3,403	43.1%	699	8.9%	25	0.3%	2,297	29.1%	107	1.4%	318	4.0%	1,039	13.2%
平成18年	12,563	5,899	47.0%	1,244	9.9%	124	1.0%	2,640	21.0%	281	2.2%	990	7.9%	1,385	11.0%
平成19年	16,667	7,376	44.3%	2,788	16.7%	209	1.3%	2,596	15.6%	1,061	6.4%	1,649	9.9%	987	5.9%
平成20年	13,318	5,007	37.6%	2,627	19.7%	137	1.0%	1,806	13.6%	1,297	9.7%	1,929	14.5%	517	3.9%
平成21年	9,733	3,313	34.0%	1,430	14.7%	215	2.2%	2,076	21.3%	1,043	10.7%	1,321	13.6%	334	3.4%
平成22年	12,788	4,330	33.9%	1,147	9.0%	351	2.7%	2,793	21.8%	1,728	13.5%	1,855	14.5%	585	4.6%
平成23年	11,784	4,892	41.5%	2,142	18.2%	498	4.2%	1,849	15.7%	1,646	14.0%	412	3.5%	346	2.9%
平成24年	10,626	2,579	24.3%	2,566	24.1%	658	6.2%	2,294	21.6%	715	6.7%	650	6.1%	1,164	11.0%
平成25年	9,795	2,974	30.4%	2,201	22.5%	753	7.7%	2,188	22.3%	483	4.9%	545	5.6%	651	6.6%

* 国別輸出実績 (平成25年)

神戸	国名	数量(トン)		金額(百万円)	
		前年比	構成比	前年比	構成比
	全世界	63	112.2%	2,974	115.3%
	香港	62	159.0%	2,933	166.2%
	シンガポール	0	86.3%	14	86.2%
	アメリカ合衆国	0	7.2倍	16	10.9倍
	中華人民共和国	0	1.8%	11	1.4%

全国	国名	数量(トン)		金額(百万円)	
		前年比	構成比	前年比	構成比
	全世界	170	77.9%	9,795	92.2%
	香港	161	90.6%	9,425	101.7%
	中華人民共和国	6	15.3%	260	19.9%
	アメリカ合衆国	1	2.7倍	66	3.6倍
	大韓民国	1	182.1%	14	2.2倍
	シンガポール	0	76.1%	14	73.6%
	マカオ	0	4.5倍	14	3.4倍
	カナダ	0	全増	3	全増